

## アンガスとあひる



まーじょりー・ふらっく さく・え

瀬田 貞二 やく

福音館書店 1974年 1155円

32ページ 17×25cm

アンガスはいろんなことを知りたいスコッチテリアの子犬。聞こえてくるあの音はなに？アンガスはあひると出くわし、追いかけたり、追いかけられたり、逃げ帰ったりします。擬人化されていない動物そのままの行動がアメリカ郊外の暮らしの中で描写されていますが、一方でアンガスの好奇心いっぱいの行動や愛らしい姿・表情は、小さい子どもに通じるものがあります。絵は低い視点からのシンプルな構図で、写実的で明るい色調、輪郭線などでわかりやすくなっています。この作品は成長していくアンガスの連作の第1作目であり、5作品の内3作は邦訳されています。



## アンディとらいおん



ジェームズ・ドーハーティ ぶん・え

むらおか はなこ やく

福音館書店 1961年 1365円

80ページ 27×20cm

アンディ少年は図書館で借りたライオンの本に夢中です。そんな朝、なんとアンディは本物のライオンと遭遇するのです。こわかったけど、トゲを抜いてやると顔をバロバロなめられました。まもなく、そのライオンとサーカスで再会します。太暴れしていたそのライオンはアンディを思い出し、喜んでおとなしくなりました。アンディは勇敢さを表彰されてライオンとも友達になりました。怖いものにも恐れずに困っているものには親切に出来る事、そして親切にしてもらった事を忘れずに感謝する事を、躍動感あふれる文と絵で生き生きと、時にユーモラスに描いています。

